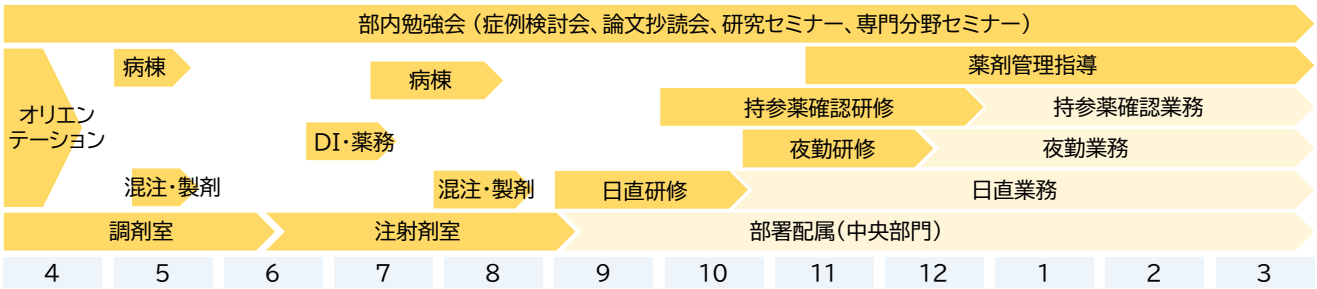
旭川医科大学病院 薬剤部

理念

時代変化を捉え、患者薬物療法に貢献できる、より高度な薬剤業務をチーム力で展開し、情報を発信する

キャリアサポート

新入職員研修に加えて、個々の目標に合わせて様々なキャリアプランを策定し、それを実現するためのサポート体制を整えています。



新人研修スケジュール ※年度により若干異なります

施設認定

当院は以下の資格取得のための研修施設の認定を受けており、働きながら資格取得が可能です。

日本医療薬学会	医療薬学専門薬剤師
日本医療薬学会	がん専門薬剤師
日本医療薬学会	薬物療法専門薬剤師
日本病院薬剤師会	がん薬物療法認定薬剤師
日本臨床薬理学会	認定薬剤師

在籍する主な認定薬剤師

日本病院薬剤師会	病院薬学認定薬剤師
日本病院薬剤師会	感染制御認定薬剤師
日本病院薬剤師会	妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師
日本病院薬剤師会	HIV感染症薬物療法認定薬剤師
日本医療薬学会	医療薬学専門薬剤師
日本医療薬学会	薬物療法専門薬剤師
日本臨床腫瘍薬学会	外来がん治療専門薬剤師
日本臨床腫瘍薬学会	外来がん治療認定薬剤師
日本緩和医療薬学会	緩和薬物療法認定薬剤師
日本臨床救急医学会	救急認定薬剤師
日本臨床栄養代謝学会	栄養サポートチーム専門療法士

標準的なキャリアパス

主任薬剤師	・リーダー業務 ・院内研修会講師	・労務管理 ・論文投稿	・院内委員会に参加 ・専門薬剤師取得
5年目～	・ハイケア病棟に配属 ・領域別認定取得	・医療チームに参加	・部内研修会講師
3年目～	・一般病棟に配属 ・病院薬学認定取得	・専門部門に配属 ・学会発表	・リーダー業務の補助
2年目～	・薬剤管理指導 ・新人薬剤師教育	・TDMに基づく処方設計 ・薬学実習生教育	・抗がん剤の無菌調製
1年目～	・社会人としてのマナー ・持参薬確認業務	・中央部門の基本業務 ・中央部門に配属	・日直業務/夜勤業務

教育・研修

業務支援

補助員を活用した中央部門・専門部門への支援体制を整えており、薬剤師は服薬指導などの対人業務や薬物治療モニタリングなどの専門的な業務に集中することができます。また、各部署で業務支援システムを導入し自動化・機械化を進めています。これにより業務の確実性を向上させ、かつ業務負担の軽減を実現しています。

調剤室

調剤室では、補助員がピッキング作業を行っています。携帯情報端末（PDA）で処方箋と薬品のバーコードを照合し、ピッキングの誤りを防いでいます。



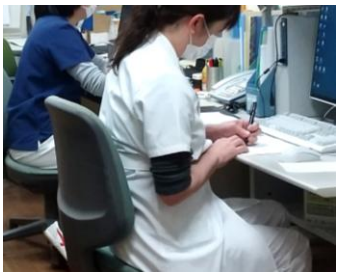
注射剤室

注射剤室では、個人別に薬剤の払い出しを行っています。2台の自動払い出し装置が稼働しています。取り揃えは主に補助員が行い、最終チェックは薬剤師が行います。



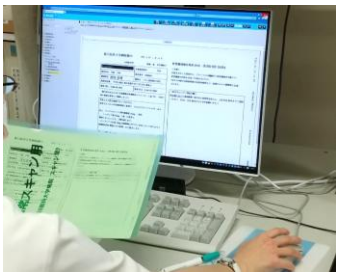
薬務室

薬務室では、医薬品の発注・購入・在庫管理を補助員が行います。在庫管理システムは電子カルテと連携し、在庫が基準を下回ったときには自動的に発注されます。



医薬品情報室

医薬品情報の収集・加工・発信やオーダリングシステムの各種設定を行う部署です。医薬品情報、通知文書などをデータベースに格納する作業は補助員が行います。



混注センター

高カロリー輸液や抗がん剤の無菌調製を行う部署です。補助員は注射剤室から届いた薬剤の検品、調製後の薬剤の包装や搬送を行います。



病棟

病棟において、補助員は持参薬確認作業をサポートします。病棟薬剤師は服薬指導や患者モニタリングなど薬学的ケアに携わります。



調剤支援システム

散剤の計量・混合・分包、一包化された錠剤の鑑別にロボットを活用しています。各種計量調剤には重量監査システムが導入されており、計量エラーの検出が可能です。



監査支援システム

過量投与や併用禁忌を警告する機能に加え、患者の年齢や検査値の情報を薬剤と照合して警告を出す機能が搭載されています。



中央部門

専門部門

病棟部門

病棟業務

いつも患者のそばに

病棟に常駐することで、薬物治療の一連の流れを把握し、最適な介入が可能です。この体制により、医師や看護師からの相談や質問がしやすくなり、円滑な連携が促進されます。

専門家として、責任者として

病棟における薬物治療に関する責任を負います。具体的には、投与量・投与スケジュール・相互作用・配合変化・副作用の確認などを病棟の患者に対して行います。



処方介入の新標準

持参薬や使用済み病棟常備薬のオーダ入力、血中濃度に基づいた投与設計を行っています。治療の有効性と安全性を向上させるだけでなく、医師の業務負担の軽減に貢献しています。

互いに信じ、頼る

普段からの病棟業務を通じて、医師・看護師および他の専門職との間の相互理解と敬意が深まります。これにより医療チームへの参加が円滑になります。

試験研究

所属部署や役職にかかわらず、テーマと熱意を持つ部員がさまざまな研究を行っています。研究の対象は薬物やヒトだけでなく、業務、コスト、データなど多岐にわたります。薬剤部に所属する教官を中心に支援体制を整えており、希望者は学会発表や論文投稿の指導を受けることができます。筆頭発表者には優先して参加費や交通・宿泊費を援助します。

業績

先輩薬剤師より

仕事でやりがいを感じる時は？

調剤室は新しいシステムが導入されたことで、それに伴うシステムメンテナンスなどの必要不可欠な業務を、若手の私にも任せてもらえるようになってきたので、責任を感じると共にやりがいにもなっています。

調剤室薬剤師（2年目）

認定取得のために行ったことは？

普段行っている業務を、患者1人1人に対して丁寧に行いました。担当患者さんの治療方法の位置づけや治療のゴールについて常に考え、その時点で最新のエビデンスを確認しながら治療に関わっていくようにしました。

外来がん治療専門薬剤師（10年目）

先輩の声

< MEMO >

薬剤師募集中！

病院見学会の日程・募集要項など詳細は、右記の二次元コード
または下記URLよりご確認ください。
https://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/pharmacy/boshu

2026年11月作成